

2025 年 月 日

大阪市長 横山 英幸 様

大阪社会保障推進協議会 会長 安達克郎
大阪市をよくする会 事務局長 中山直和

日本一高い介護保険料の引き下げと 大阪市補聴器購入助成の改善を求める要望書

大阪市の介護保険料は基準月額 9,249 円・年額 11 万 988 円で全国平均の 1.5 倍です。特に低所得者(非課税世帯・年金 80 万円以下)と比較すると近隣の政令指定都市と比べても極端に高くなっています。神戸市(年 1 万 8556 円)の2倍以上の 3 万 7,181 円になっています。

高齢者に多大な負担を負わせる介護保険は限界に来ています。高すぎる介護保険料は国の公費負担を増やさない限り抑えることはできません。それまでの間は、大阪市の一般財源を繰入して介護保険料を引下げるべきです。

また今年度新規事業としてスタートした補聴器の購入助成は助成額が 25000 円と全国一低額で、介護予防事業に参加することを条件にし、さらに申請は区役所で出来ないなど非常に使いにくい制度となっています。

ついては、以下について強く要望します。

【要望内容】

1)現在の介護保険料の仕組みでは限界です。国庫負担増で介護保険料引下げ、介護を充実するよう国に求めてください。

2)当面、大阪市の独自財源(財政調整基金・6 年度末見込 2,861 億円など)を投入して介護保険料を据え置いてください。そのため、万博・カジノ関連予算など無駄遣いを見直してください。

3)大阪市補聴器購入助成事業は次のとおり改善してください

①介護予防活動参加を条件としないこと ②助成額は、少なくとも 15 万円以上とすること ③償還払い(後払い)だけでなく、受領委任払いも可能とすること ④区役所で受付・決定を行うこと

名 前	住 所